



俳句TVミニ講座 入門編

第3章 俳句の実践



ここでは俳句を詠むための実践を学びます。

第3章 ～俳句の実践～

第3章では、俳句を実践するためのポイントを説明してゆきます。

The image is a composite of two photographs. On the left, a person is shown from the chest down, wearing a light blue denim jacket over a white t-shirt and carrying a grey backpack. On the right, there is a close-up of a gold-colored alarm clock with a white face and black numbers. A dark red banner is overlaid on the left side of the image, containing white text.

俳句実践とは

「句会」「俳句用語」「表記」

この三つのポイントを中心に説明してゆきます。

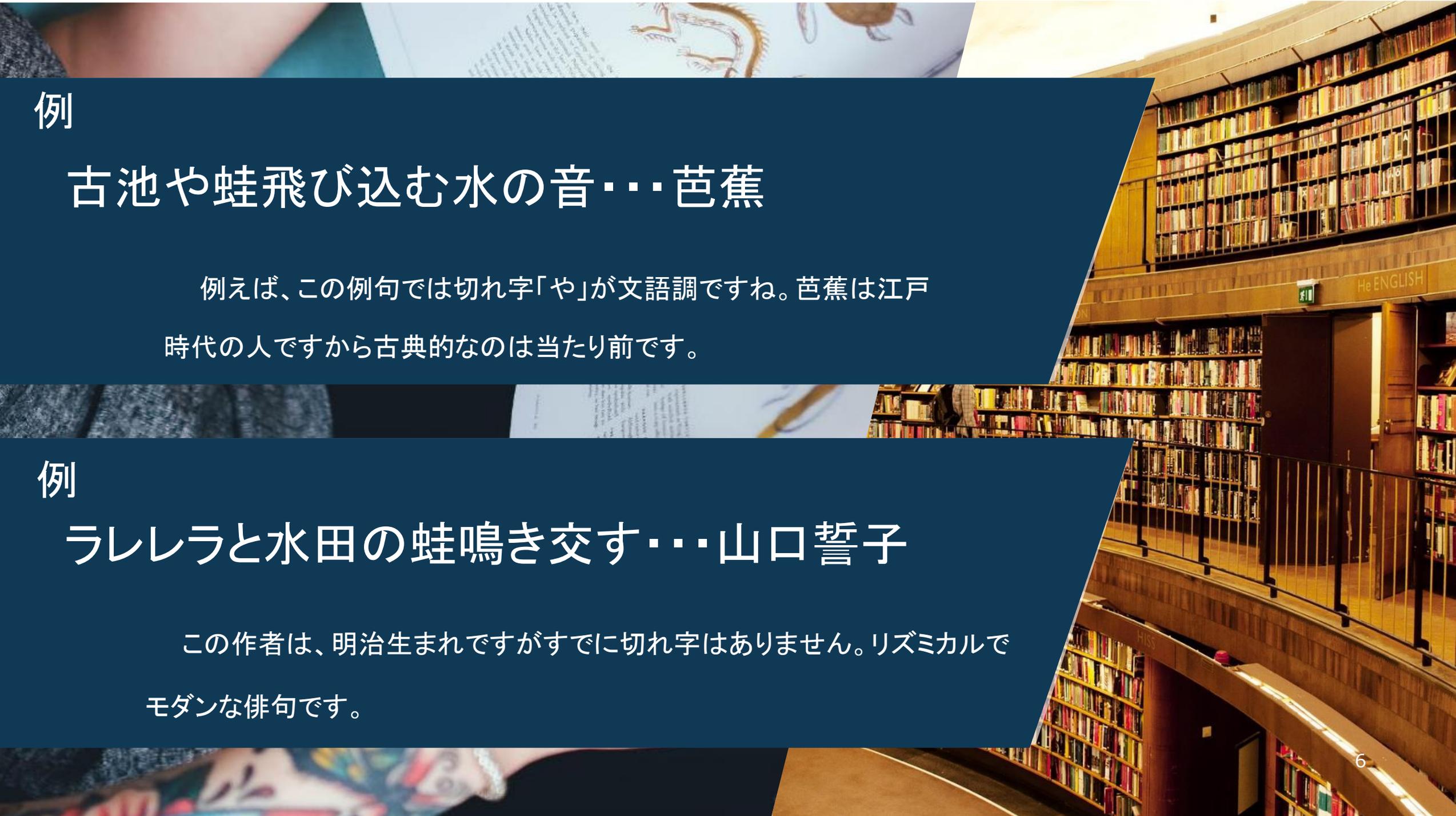
第3章 ～俳句の実践～ No 3 表記

俳句では、俳句特有の表記の慣習的な感覚があります。
俳句は古くから伝承されて来た日本特有の分野であり、未だに古い文語が混ざり合って表記されたりします。

俳句の表記とは？

俳句特有の表記であり表現です。

古い慣習や現代の新しい言葉など、言葉は日々変化しますので、俳句では未だに文語文法や文語調が使われている事が多いです。



例

古池や蛙飛び込む水の音・・・芭蕉

例えば、この例句では切れ字「や」が文語調ですね。芭蕉は江戸時代の人ですから古典的なのは当たり前です。

例

ラレラと水田の蛙鳴き交す・・・山口誓子

この作者は、明治生まれですがすでに切れ字はありません。リズムカルでモダンな俳句です。

A composite image featuring a group of diverse people walking in a field under a blue sky, and a stack of books and a notebook in the foreground. The text is overlaid on a yellow banner in the center.

それでは次回は～俳句の応用～より「時候の挨拶」についてです。お楽しみに！